



「よみうりヘルスケア・コンパニオン」は読売新聞の医療・健康プロジェクト。「大切な誰かを支えたい」をコンセプトに、役立つ情報を分かりやすく提供しています。

カラダも家計も健康に ジェネリック医薬品という選択

よく耳にするものの、海外に比べ、日本ではまだ普及率の低いジェネリック医薬品。有効成分や効果はそのままに、実は品質改良がなされたり医療費の抑制につながったり。ジェネリック医薬品ならではの長短があります。2月4日、東京・有楽町のよみうりホールで、ジェネリック医薬品への理解を深めるシンポジウムが開催されました。

主催 / 読売新聞社
後援 / 厚生労働省、日本医師会、日本薬剤師会、国民健康保険中央会、健康保険組合連合会、全国健康保険協会、日本ジェネリック医薬品学会
協賛 / 日本ジェネリック製薬協会

健康はバランス 新しいことにも挑戦を

脳科学者
茂木 健一郎氏

(もぎけんいちろう)
専門は脳科学、認知科学。「クオリア」(感覚の持つ性質)をキーワードとして脳と心の関係を研究する。文芸評論、美術評論などにも取り組みながら、作家、プロドクターとしても活躍。



脳

科学者の立場からいいますと、健康とはバランスのことです。私は、ちよつと太めの体形ですが、太っているからといって不健康なわけではありませんし、瘦せすぎもよくありません。また、どんなに体に良い健康食品でも、それだけ食べていけばいいというわけでもありません。何事もバランスが大事ということです。

ジェネリック医薬品も、限られた国の予算をバランスよく使うための一つの方法です。薬を開発するには、すくお金がかかります。長い時間と多くの手間をかけて臨床試験を行い、確かなエビデンス(科学的根拠)を得て、ようやく治療薬として認められるわけですから、製薬会社はその研究開発費を回収しなければなりません。そこで、新薬を開発した会社が費用を回収し終えた頃に、同じ成分、同じ効果を持つジェネリック医薬品として他の会社が安価に提供することを認め、医薬品にかかる予算をほかの医療や福祉にまわそうとしているのです。

基調講演 脳からカラダを健康に

健康は幸せとも非常に深く結びついています。さまざまな研究から、人間の幸せの条件は「他人との絆」であることがわかっていきますが、他人とのかわりを通して、長所も短所も含めて自分の個性を知り、受け入れることで、人は幸福感を得られるんですね。お互いの個性を認め合うこと、新しいことに挑戦すること。これが、いつまでも心と体の健康を保つために大切ではないかと思っています。

パネルディスカッション

カラダも家計も健康に ~ジェネリック医薬品という選択~

自分の健康は自分で守る薬局を気軽に利用して

関谷 健康増進のために、国としてはどんな取り組みを行っていますか。

大西 今年1月から「セルフメディケーション税制」という、医療費控除制度が始まりました。処方箋がなくても薬局で買えるようになったニスイチOTC医薬品を年間1万2000円以上購入すると、税制優遇を受けられるというものです。日本は、平均寿命と健康寿命との間に平均9、12年の差があり、この差の主な原因は生活習慣病です。適度な運動、適切な食生活、禁煙を心がけるとともに、こうした制度も活用して、自分の健康は自分で守りたいと思っています。

武藤 OTC医薬品とは「オーパーサ・カウンタ」という意味で、薬剤師さんへの相談のもと、カウンター越しに買える薬のことをいいます。



8割以上の使用が目標

厚生労働省医政局経済課課長
大西 友弘氏
(おおにしともひろ)
内閣府社会保険改革担当参事官、内閣府長官秘書官、厚生労働省年金局事業管理課長などを経て、2015年10月より現職。



薬局に気軽に相談を

北海道女性薬剤師会会長
山口 路子氏
(やまぐちみちこ)
(有)ファーマシー本通り、(有)本通調剤薬局、(有)あけぼの調剤として、現場で薬剤師の育成などに取り組む。



医療従事者への啓発も重要

国際医療福祉大学大学院教授・医学博士
武藤 正樹氏
(むとう まさき)
2006年から国際医療福祉大学三田病院副院長、国際医療福祉大学総合研究所長を歴任。現在同大学院教授、日本ジェネリック医薬品学会代表理事。



お薬手帳は外出先でも安心

スポーツキャスター元バドミントン日本代表
陣内 貴美子氏
(じんないきみこ)
バドミントン選手として、1991年全英選手権ダブルス準優勝、92年バドミントン五輪ダブルス9位。現在、日本テレビの夕方の情報番組「news every.」に出演中。

山口 薬局はただ薬を調剤して

もらう場所から、いろいろな相談ができる場所へと変わりつつあります。私たち薬剤師も、その患者さんにとってベストな選択肢を提案する役目があると感じています。昨年4月からは「健康サポーター薬局」制度が始まりました。薬は適量から読む「リスクリ」セルフメディケーションといいますが、自分だけの判断では危険な場合もあります。ぜひみなさんには、かかりつけ薬局、「マイ薬剤師」を持ち、薬局を気軽に利用していただきたいですね。

医療費の節約は大きな課題

関谷 病気になる、医療費の負担も気になります。国の財政的には医療費の負担は毎年1兆円

ください。一緒に考えていければと思います。
武藤 現在、全国の残薬薬剤費は400億円ともいわれ、昨年の4月から「節薬バッグ運動」という取り組みも始まりました。飲み残した薬を袋に入れて薬局に持ち込むと、その分を差し引いて調剤を行うので、負担額が安くなります。もちろん、期限の切れた古い薬剤は対象外ですが。

関谷 薬の足し算、引き算を上手に行うためにも、お薬手帳は大切です。外出先で何かあって、お医者さんにかかった場合でも、薬歴や持病がわかるので安心なはずです。

陣内 私の母は、どこへ行くにも必ずお薬手帳を持参しています。外出先で何かあって、お医者さんにかかった場合でも、薬歴や持病がわかるので安心なはずです。

武藤 ジェネリック医薬品とは、新薬の特許期間を過ぎたあとに作られる医薬品のことです。先発薬と同じ有効成分、同じ効果を持っています。有効成分の濃度や効果に違いがないことは証明されていますし、製剤改良もされているのですが、医師、薬剤師、患者さんに行った意識調査では、ジェネリック医薬品の使用に抵抗感を持つ方がそれだけ多くいて、理解が進んでいないと実感します。

陣内 実は、先発薬が新薬と呼ばれていることもあり、ジェネリック医薬品は古いレシピで作られているものだと誤解されています。また、病気のときくらいは、ケチケチしないで、お薬をたっぷり使いたいと思っています。

大西 先発薬にブランド品のよさがあるのかもしれないですね。海外では、アメリカで約9割、ドイツで約8割と全医薬品に占めるジェネリック医薬品の使用割合が圧倒的に高いんです。

関谷 今日は大変貴重なお話を伺うことができました。ぜひみなさんも、ご家族やお知り合いとジェネリック医薬品について話し合ってみてください。



フリーアナウンサー
関谷 亜矢子氏
(せきやあやこ)
元日本テレビアナウンサー。2000年に結婚を機に退社。1女の母。イベント、シンポジウムの司会がたから、TOKYO MX、BS日テレなどに出演中。